区分・種別	重要文化財(石造物)
区 刀 「住 別	いしてじごりんのとう
名 称	石手寺五輪塔 1基
所 在 地	松山市石手
所 有 者	石手寺 管理団体
指定年月日	昭和27年11月22日
解説	五輪塔は、平成7(1995)年まで門前にあったが、現在は、石手寺境内北の裏山にあり、源頼朝の供養塔として祭られている。総高273cm余り、花崗岩製の巨大な五輪塔で、保存状態がよく、損傷もみられない。地輪、水輪、火輪、風輪、空輪の五輪がよく整い、当初の姿をよく残す石塔として貴重な存在である。  形式、技法からみて、鎌倉時代の代表的なすぐれた石造物である。

